

様式

## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部 農林水産局農村環境課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 村上 主直 (地域整備係長 中野光雄)	内線	3931  (3946)
事業種目	中山間総合整備	事業名	事業区間	総事業費	5.4億円
		中山間地域総合整備事業	江井大石地区	内用地補償費	0.4億円
所在地				事業採択 予定年度	着工予定 年度
淡路市江井				H18	H18
事業目的			事業内容		
<p>中山間地域の持つ食糧の供給機能や保養休養など多面的機能を保全し、定住を促進するため、農業生産基盤・生活環境の整備を早急に進めるとともに、地域の活性化への取り組みを支援する。</p> <p>淡路市：過疎法による指定</p> <p>事業主体：淡路市</p>			<p>1. 農業生産基盤 (ほ場整備 A = 9.6ha 農業用排水路 L=1.1km) (国55%、県15%、市10%、地元20%)</p> <p>2. 生活環境基盤 (集落道2路線 L = 1.7km) (国55%、県8%、市37%、地元0%) (用地整備1箇所 A=1,000m<sup>2</sup>) (国55%、県2%、市10%、地元33%) (活性化施設1箇所 163m<sup>2</sup>) (国55%、県2%、市10%、地元33%)</p>		
評価視点	評価結果説明				
(1)必要性	<p>当地区は、中山間地特有の棚田地帯であり、農業生産基盤等の整備が遅れており、過疎化・高齢化の進行により地域の活力低下が懸念されているが、一方でふれあい祭り等で「ふるさとむら会員」との交流、農産加工物の研究等に取り組んでいる。このため、ほ場整備により生産基盤の向上、都市との交流をさらに促進するため活性化施設、集落道の整備を実施し、地域の活性化への取り組みを支援する。</p>				
(2)有効性・効率性	<p>事業実施により、主に下記の効果が期待できる</p> <p>ほ場整備・農業用排水整備により、農地の荒廃化を防止し地域の農業生産の向上。</p> <p>集落内道路の生活環境の整備により、都市との交流促進と快適な生活空間の創出。</p> <p>用地整備・活性化施設整備により、ふるさとむら会員との交流拠点とし都市と農村との交流、集落の活性化。</p> <p>○費用便益比 B / C = 1.35</p>				
(3)環境適合性	<p>ほ場整備については、ほ場との連続性を有する排水路を設置し生態系に配慮した整備を行うとともに、中山間の豊かな田園、棚田景観を維持する。</p> <p>集落道の整備については道路側溝を配置し、生態系の保全を進め保護するものである。</p>				
(4)優先性	<p>当地区は、「東桃川村おこし協議会」を設立し、ふるさとむら会員との交流、イベント開催など、集落の活性化に積極的に取り組んでいる。</p> <p>元気な地域づくり交付金事業東桃川地区(H17～H21)のほ場整備と一体的な整備を図ることにより、集落担い手育成と併せて、農業生産基盤を強化する。</p>				